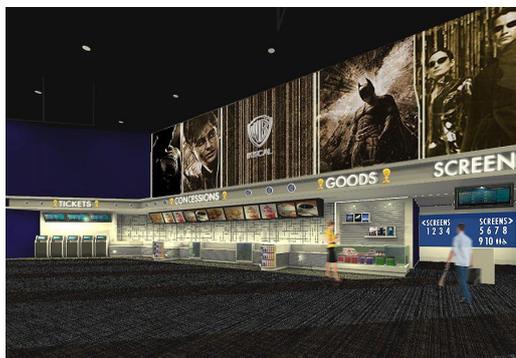


国内初!“映写室のないシネマコンプレックス”が登場(※)
「ワーナー・マイカル・シネマズ 春日部」
 2013年3月5日(火)グランドオープン



株式会社ワーナー・マイカル

劇場ロビーイメージ

(株)ワーナー・マイカルは、10スクリーン約1,900席の大型シネマコンプレックス「ワーナー・マイカル・シネマズ 春日部」を2013年3月5日(火)、多機能複合型ショッピングモール「イオンモール春日部」内にグランドオープンいたします。本年は当社が、1993年に国内第1号となるシネマコンプレックスを海老名にオープンしてからちょうど20年目。節目の年に3年ぶりとなる新劇場誕生です。

新劇場は完全にデジタル化され、プロジェクター(映写機)は、全スクリーン劇場内後方壁面上部に設置。国内初の“映写室のないシネマコンプレックス”となります。(※)また、ポスターケースや告知物もデジタルサイネージにし、お客様にタイムリーな情報をお届けします。さらに、前方壁いっぱい広がる巨大スクリーンと包み込まれるような立体音響システムの「ウルティラ」や、映画シーンと連動して動く座席「D-BOX(ディー・ボックス)」を2つのスクリーンに合計32席設置するなど、埼玉県初となるサービスも導入し、映画の面白さ、新しい楽しみ方をご提供いたします。

春日部市は埼玉県の東部に位置し、江戸川を挟んで千葉県野田市に隣接。都心から約35km圏にあり、東京の近郊都市として発展している人口集積の高いエリアです。「イオンモール春日部」は、国道16号線と新4号国道バイパスが交差する交通アクセスに恵まれた位置にあり、広域からの集客が期待できる好立地です。年間動員目標は60万人です。

新劇場は埼玉県で6劇場目。今回の出店により、ワーナー・マイカルの劇場数は全国で61劇場、506スクリーンとなります。

(※)DCP(Digital Cinema Package)で上映するシネマコンプレックスにおいて

■新劇場概要

劇場名	ワーナー・マイカル・シネマズ 春日部
所在地	埼玉県春日部市下柳420-1「イオンモール春日部」内
総支配人	阿部 弘幸
開業日	2013年3月5日(火)グランドオープン
スクリーン数	10スクリーン
座席数	1,881席 ほか車椅子スペース24席
映像設備	・リフティング映写機(全スクリーン) ・ウルティラ ※1番スクリーン ・D-BOX ※1番スクリーン 20席、7番スクリーン 12席 ・デジタル3Dシネマ ※1・6・7・10番スクリーン
駐車場	約2,900台(ショッピングモール全体) ※無料
動員目標	年間60万人

■新劇場の特徴

○国内初！“映写室のないシネマコンプレックス”が登場(※)

劇場内最後部天井部分にリフティング映写機を設置。これまであった映写室が不要となり、劇場の省スペース化を実現しました。昇降機能を備えており、メンテナンス時に下ろします。

○すべての作品を 高精細サウンドと高画質映像で提供 オリジナル デジタルシアター「ULTIRA(ウルティラ)」<1 番スクリーン>

ワーナー・マイカルが独自に開発した音響・映像システム「ウルティラ」を導入します。オリジナルの建築音響スペックに基づいて造られた映画音響に最適な空間に、ハイスペックな機材を使用し、映画鑑賞の理想空間を構築。また、劇場のどの座席からも最適な音質でお聴きいただけるように、JBL Professional 社の技術者が音響をコントロールしています。邦画・洋画を問わず全作品が、前方壁いっぱいの大型スクリーンと、まるで体を包み込むような立体的サウンドでお楽しみいただけます。違いがわかる映画ファンにお勧めのシステムです。料金は、鑑賞料金プラス 200 円です。



「ウルティラ」イメージ

○かつてない感動！ シーンと連動して動く座席「D-BOX(ディー・ボックス)」<1 番・7 番スクリーン>

カナダの D-BOX Technologies 社が特許技術により開発した「D-BOX」は、映画のシーンに完全に同調したモーション効果とインテリジェントバイブレーションを作り出す最新システムです。音に反応して振動する椅子とは異なり、モーションデザイナーがフレームごとにモーション効果とインテリジェントバイブレーションをプログラミング。スクリーン上のアクションにぴったりとシンクロした動きが作り出されます。

上下・左右・前後様々なパターンの動きがあり、カーチェイスのシーンでは自分もその車に乗っているかのように道路やカーブなどを体感でき、ヘリコプターのシーンでは振動の他、浮いたり降下したりするような感覚が味わえるなど、より臨場感にあふれたエキサイティングな映画体験をお楽しみいただけます。「D-BOX」は、当初ホームシアター用に開発され、2009 年 4 月に米国の劇場に初めて設置されました。現在、世界 14 カ国、163 劇場、181 スクリーンに導入され、国内では、当社の「大高」「港北ニュータウン」に続き、3 劇場目となります。料金は、鑑賞料金プラス 1,000 円です。



「D-BOX」の座席



「D-BOX」体験風景

○地域のメディアセンターとして、多様なコンテンツを提供

スポーツ、コンサート、演劇、クラシックバレエなど映画以外のさまざまなエンターテインメント「シアタス」を幅広く上映。映画ファンに留まらない幅広い層のお客様に多様なコンテンツを提供し、地域のメディアセンターの役割を担うことを目指します。



「シアタス」ロゴマーク

facebook: <http://www.facebook.com/warnernycal>
ワーナー・マイカル HP: <http://www.warnernycal.com/>